

相武台周辺地域小・中学校の 学習環境のあり方検討協議会

ニュース

令和3年1月発行
相武台周辺地域小・中学校の
学習環境のあり方検討協議会

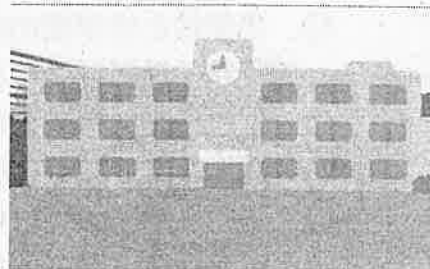
第5号

はじめに

相武台地区の児童数は減少傾向にあり、現在、相武台小の4年生と、もえぎ台小の1～4年生が、1学年1学級となっており、両校は11学級以下の過小規模校となっています。

こうした過小規模校の解消に向け、検討を行うため、平成30年8月10日に「相武台周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会」を設置し、相武台周辺地域の小・中学校（相武台小、緑台小、もえぎ台小、相武台中）における望ましい学習環境のあり方について、意見交換を行ってきました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、約1年間開催を自粛していましたが、12月8日に第6回検討協議会を開催し、これまでの話し合いの振り返りや今後の進め方、検討結果報告書の案について、意見交換を行いました。



これまでの経過

- 児童生徒数の減少に伴い、相武台小が平成29年度、もえぎ台小が平成31年度から過小規模校（※）となった
- 過小規模校の解消に向け、相武台周辺地域の望ましい学習環境のあり方を検討するため、保護者と地域の代表者で組織する「相武台周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会」を設置

【検討協議会の開催状況】

※過小規模校：小学校11学級以下、中学校5学級以下

年月日	会議等	内容
平成30年 8月10日	第1回検討協議会	行政説明、規約案、会長・副会長の選任など
10月24日	第2回検討協議会	相武台地区の小・中学校と地域の現状と課題の検討
平成31年 1月18日	第3回検討協議会	課題（望ましい学校規模）の検討
3月26日	第4回検討協議会	課題（学区・小中一貫教育）の検討
令和元年 12月 9日	第5回検討協議会	課題解決方策（4つの再編案）の検討 ・通学区域変更のみ行う1案と学校規模に重点を置き3校→2校とする3案を検討
新型コロナウイルス感染症対策による会議開催の自粛（令和2年2月以降）		
令和2年 12月 8日	第6回検討協議会	検討結果報告書（案）（たたき台）の検討

今後の進め方について

- ・ 令和3年3月を目標として、「検討結果報告書」を取りまとめていくことを決定しました。

検討結果報告書（案）（たたき台）について

- ・ 検討結果報告書については、「検討の背景」、「検討の経過と検討協議会委員の意見」、「意見の総括」、「結論（再編の方向性）」の項目で取りまとめていくことを決定しました。

特に、「結論（再編の方向性）」については、次に掲げる意見を踏まえ、小学校3校を2校にする再編案を作成し、保護者や地域の皆さんに意見を伺い、取りまとめていくこととしました。

- 過小規模校を解消し、良好な学校規模にしていくこと
- 小学校と中学校の通学区域の不一致を解消し、小中一貫教育を効果的に実施できる環境をつくること
- 学校施設に余裕をもたせること
- 通学距離が遠くならないよう、小学校の通学区域を設定すること
- 子どもたちの見守りを行う自治会と連携しやすいよう、小学校の通学区域と自治会区域を一致させること
- 子どもたちが、環境の変化により不安にならないよう、必要な配慮をすること

委員からの主な質問

- 小中一貫教育や、学区と自治会区域を合わせるなど、これまでの検討協議会での意見を踏まえ、良い再編案がまとまってきたと感じるが、感染症への対応や、避難所として使う時に、実際に学校施設の余裕はあるのだろうか。
→ 教室数の確保については、余裕教室の転用、改修等により対応を検討する必要があります。避難所の取扱いについては、市関係課と情報共有を行い、対応するものと考えます。
- 検討結果報告書を教育委員会へ提出した後、再編は何年後に行われるのか。
→ 例えば、令和3年3月ごろ検討結果報告書をいただいて、令和3年度に教育委員会で方針を決定した場合、その後、学校施設の改修、学校の事務等、必要な準備があるため、再編までに数年かかると思われます。

「相武台周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会ニュース」は、相武台小学校、緑台小学校、もえぎ台小学校及び相武台中学校の保護者の方に配付するとともに、相武台地域の自治会に回覧しています。

検討協議会の結果概要とこれまで検討した課題解決方策（案）などの資料は、市の行政資料コーナー、相武台公民館、相武台小学校、緑台小学校、もえぎ台小学校及び相武台中学校に配架していますので、関心のある方は是非ご覧ください。

事務局（お問合せ先）
相模原市教育委員会
教育局 教育環境部 学務課
電話（直通）
042-769-8282